



7月 ほけんだより

2023/7
発行

000

梅雨に入り蒸し暑い日が続いています。もう夏日の気温ですが、まだこれから30℃以上の気温の日が増え、蒸し暑さが増してきます。子どもたちも発熱したり、だるさを感じてゴロゴロすることが多くなります。水分・塩分補給や休養をとりながら、体調管理をしていきましょう。

〈夏に多い感染症〉

夏は意外と熱を出しやすい時期で、下記は夏に多い感染症です。



ヘルパンギーナ
高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



プール熱
(咽頭結膜熱)
高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。



手足口病
手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることも。

近年、コロナの影響か手足口病が大流行したり、重症化したりする時期があります。比較的軽く済む病気ですが、高熱が出て口の中にできると食事が出来なくなることもあります。秋以降に多いとされる呼吸器の感染症「RSウイルス」も6月、7月に出ることもあり、乳児では気管支炎や肺炎を起こすこともあります。咳が続いて「風邪かな」と思う時は念のため、受診をするようにしてください。登園届の提出が必要となる感染症があるのでご注意ください。

『プール・水遊びについて』

7月4日がプール開きになります。今年は新型コロナウイルスが第5類となり、制限なく行うことができます。鼻汁が多い・濃い・耳が痛いなど症状がある場合は、プール・水遊び・湯遊び前に受診してください。プール・水遊び・湯遊びのお知らせを配信していますのでご覧ください。今年度より、乳児は、水着を着用してのプールではなく、衣類を着用しての水遊びへと変更になりました。幼児は屋上でのプールですが日よけをし、途中で休憩を入れながら行っています。また、熱中症を防ぐため、幼児の屋上、乳児のベランダでは熱中症指数計を用いています。熱中症指数計で暑さ指数が28℃（気温ではありません）を超えると様子を見ながら行き、31℃（危険）になると即中止になります。ご了承ください。

〈保育園での蚊対策〉

- ・乳児・幼児：天使のスキンベープ（イカリジン配合）
 - ・部屋・ベランダ：虫コナーズ、網戸
 - ・園庭：蚊取り線香（除虫菊）
 - ・その他：不要な水たまりをなくす
- 虫刺されがひどい場合は、長袖・長ズボンも検討しますので担任までお話しください。



*虫刺され後の処置

- ・流水で洗浄後
- 乳児：ベビームヒ塗布、
- 幼児：レスタミン塗布（ガーゼ保護することもあり）
- ・ムヒパッチ：名前を記入し、保育士にどこに貼ってありか口頭でお知らせください。（腫れがひどい場合、掻きむしりがある場合は使用可）
- ・虫よけシール：はがれやすく誤飲の危険があるという事と、虫よけ対策は上記に記載されている対策を園で行っているため、ご使用をご遠慮お願いいたします。

